



— ともに支えましょう —

〒181-0015 東京都三鷹市大沢 3-10-20 TEL:0422-31-4611 FAX:0422-33-6405 URL: https://www.luther.ac.jp/college/donation/



天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」

—ルカによる福音書 1:28—

神のご計画の中で、救い主の誕生のために選ばれたのは、歴史もなく取り立てて取り柄もないナザレという村。マリアはその村に住む、無名の少女でした。

マリアはたった一人で神のご計画に従い、自分自身を捧げました。この命がけの従順によって、この世に救い主が贈られた出来事を思う時、私はこの世界がどんなに不安な世界になっていったとしても信じられるのです。この世にたった一人でも平和を願い、そこに自分を捧げていく人がいれば、神はその人を用いて主にある平和は実現されていくと。

貧しい一人の少女の信仰を通して平和の君で

ある主イエス・キリストが誕生したように、神はあなたを用いて平和を実現されるお方です。

今もなお、争いの絶えない世界で、悲惨な出来事を耳にするたびに、神は本当にいるのか、とさえ思う日があるかもしれません。けれども、ご自分のみ姿に似せて作られた人間の尊い命が、人間同士の暴力によって失われていくことを、神が悲しまないはずがありません。

争いの絶えない世界、平和を創りだすことの困難な世界。にもかかわらず、私たちにはクリスマスをお祝いすることが許されています。

ガブリエルがマリアに告げた言葉「主があなたと共におられます」「インマヌエル」。

神がこの世に降り、インマヌエルが、現実の形となった出来事がクリスマスです。

マリアに宿ったように、名もないところに、貧しさに、弱さに、虐げられた所にキリストは入って行かれ、「私はあなたとともにいます」と語ってくださいます。

その神からの恵みを、どうぞ手を伸ばして受け取ってください。

その恵みによって神との平和を得て、人との間に平和の実現を為すものと変えられますように。

インマヌエル、イエス様はあなたと共におられます。



日本福音ルーテル小鹿教会・清水教会 牧師 笠井 春子

私たちが応援しているルーテル学院生

原彩歌さん (人間福祉心理学科2年) は高校時代の体験から自分の心を制御する心理学に関心を持ちました。ルーテル学院で学びを進める中、他人の心の動きにも関心を深め、現在は公認心理師の資格取得を目指して勉強中です。また入学後、初めてパイプオルガンに触れ、現在はチャペルオルガニストとして学校の礼拝で奏楽奉仕をしています。将来に繋がる新しい自分の姿を日々、ルーテル学院で見出しています。

野左根希歩さん (キリスト教人間学コース3年) の名前は「希望に向かって歩む」人であるように付けられました。その名の通り、彼女は入学後に様々なことに関心を持ち、積極的に取り組みます。チャレンスタッフやオルガニスト、インドワークキャンプへの参加に、テーマパークでのアルバイトなど、何よりも人の喜びを自分の喜びとした歩み続け、現在はキリスト教と子ども支援に関心を持って学んでいます。

阿部大地さん (臨床心理コース4年) は心理学を学びたいという関心で本学に入学し、好奇心をもって大学での学びを続けています。大学の前半はオンラインの学祭『色祭』の実行委員や学生会執行部の会長になるなど学生活動にも力を入れました。大学の後半は公認心理師の資格取得のために必要な心理実習にも積極的に取り組みました。将来は教育分野で働く公認心理師・臨床心理士を目指しており、大学院進学に向けて準備中です。

佐藤孝洋さん は札幌にあるルーテル幼稚園 (NRK) で12年間教諭として働いてきました。幼児教育に関わる中であらゆる喜びの根源に神様の恵みがあることに開眼し受洗。この喜びの根源である神様についてもっと知りたい、そして多くの人たちと分かち合いたい、という思いから神学校に入学しました。現在は神学校2年生。説教の学びが始まり、み言葉を語ることの奥深さについて関心を持ち始めているところです。

大和友子さん は、お子さんたちが大岡山幼稚園に通い始めたことをきっかけに JELC 大岡山教会で教会生活を送るようになりました。キリスト教主義の小学校の教員として定年まで勤務し献身を決意しました。教室では堅実で熱心な学びをする傍ら、最終学年ではチャプレン助手として学内の様々な礼拝行事を大学生たちと一緒にサポートしています。いよいよ卒業を控え福音宣教へと乗り出そうとしているところです。

▲『学生スピーチ・証し集』ご紹介した5名の学生のスピーチを冊子にして、1月初旬に JELC・NRK 教会と世話人様にお届けいたします。お楽しみに！▲

— 地区だより —

9月7日 (土) 北部九州地区
**献身者を送り出す
祈りのつどい IN ふくおか**
推進委員 山根 洋子



9月7日「献身者を送り出す祈りのつどい IN ふくおか」が博多教会で開催され、開会礼拝は平岡仁子先生のみ言葉から「私たちの苦しみもまた恵として受けとめましょう」というメッセージでした。お菓子とお茶入の袋を頂き、懇談会会場南博ホールへ。佐賀・小倉・聖ペテロ・二日市・甘木・博多・箱崎の教会から35名の方が集まり、各教会の様子や神学校への思いなどを伺いました。

9月8日午前の礼拝は箱崎教会で平岡仁子先生の説教。おにぎり、教会の方手作りの具沢山の味噌汁、梨、ぶどう、黒糖わらび餅、お菓子を頂き、和田牧師の車で博多教会で開催される「福岡地区5教会の集い」へ移動しました。

平岡仁子先生の講演は「パンデミックと礼拝～再び、礼拝について考える～」8つのテーマで①再び、礼拝を考える ②礼拝の始まり ③旧約聖書と礼拝 ④礼拝の意味 ⑤ルター派の礼拝 ⑥聖書と礼拝 ⑦礼拝する民 ⑧神と出会う礼拝。皆さま熱心に耳を傾け、質疑応答も活発に行われました。「神学校の先生の話聞きたい」「僕らの教会！という気持ちを持ち続けたい！」という篤い発言があり、感激しました。

神学校への篤き思いと尊い献金はルーテル学院に届けました。2日間博多教会、箱崎教会の皆さまに色々お世話になりましたことに深く感謝いたします。

9月29日 (日)
尾張・岐阜地区世話人会
後援会副会長 古財 武久

ルーテル学院大学の上村敏文先生による講演会の後、世話会が開かれました。

司会は東海教区世話人代表の太田三男さん (名古屋めぐみ教会員) で、出席者は上村敏文先生、後藤由起牧師 (名古屋めぐみ教会)、世話人の磯村久市さんと奥様 (知多教会)、秋田義彦さん (大垣教会)、そして古財 (推進委員) の7人でした。

最初に上村敏文先生からルーテル学院の現状とこれからの話があり、後援会の推進委員会が月1回のペースで開かれ、熱心な話し合いがもたれているとの報告もありました。

その後の意見交換では、

- ・ルーテル学院大学と日本ルーテル神学校のこれからのビジョンについて
- ・牧師を目指す信徒をどのように養成していけば良いのか
- ・後援会への献金を伸ばしていく良い方法はないか (現在は定期的に年3回行われている)

などのほか、地区世話人代表の交代についても話題になりました。

少人数での短い時間でしたが、有意義な話し合いができたと思います。



クリスマスの喜びを
大学・神学校へ



2024年度
募金目標額

2,500万円

ルーテル学院への献金は寄付金控除が受けられます。税額控除の場合、10万円の献金で約4万円の所得税が還付されます (要確定申告)。